

第1回「きのさき見て歩き」を開催しました

実施日 2022年6月3日(金) 9:30~14:30 (天気: 晴れ)

講師 坂田 文一郎氏(城崎文化協会会長)

内容 「志賀直哉を歩く-イモリ編-」

【集合・出発式】



出発式の前に、中学生4名に受付や資料配布などの仕事を経験してもらいました。出発前に、坂田先生と土生田館長に挨拶をしていただきました。

【文芸館】



城崎文芸館にある志賀直哉文学碑前で坂田先生による解説がありました。志賀直哉が電車にはねられた後、養生には湯治がいいだろう…ということで、城崎温泉の評判を聞いて療養の場所を選んだとのこと。

【三木屋前】



城崎中学生による朗読



志賀直哉が療養中に泊まった三木屋の前で坂田先生による解説がありました。現在、駐車場と民家が建っている場所が震災前は三木屋の本館だった。震災後、今の建物になり、志賀直哉は26号室に泊まったとのこと。ここでは、『城の崎にて』の〈序章〉と〈はちの死〉を朗読しました。

【城崎アートセンター】



紹介 VTR を見た後、志賀館長にアートセンターの説明をしていただきました。館内の案内もしてもらい、現在公演中のアーティストにリハーサル中の姿を見せていただき、貴重な経験になりました。

【桑の木】

竹野中学生と職員による朗読



桑の木の前で坂田先生による解説がありました。

桑の木から少し上流の場所に、志賀直哉がイモリに石を投げたといわれている場所がある。

志賀直哉は、狙って投げることが下手だと思っていたので、石を投げたところで当たるはずが無いと思ってイモリに向かって石を投げたところ運悪く当たってしまい、イモリが死んでしまったとのこと。

解説を聞いた後、『城の崎にて』の〈いもりの死〉と〈終章〉を朗読しました。

【あたご橋】

職員による朗読



あたご橋で『城の崎にて』の〈ねずみの死〉を朗読しました。

朗読の後、坂田先生による解説がありました。

当初の予定より早い 14 時頃、城崎庁舎へ戻り解散しました。